

科目ナンバー： 研究・CNS：MC6011／助産：MmC6011

授業コード： 6630600100

講義科目名称： がん看護学特論 I

英文科目名称： Advanced Cancer Nursing I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択 がん看護CNS必修
担当教員			
◎石田和子、神田清子、樺澤三奈子、横川史穂子、関睦美、小暮敏明、柏木夕香			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間			
	【担当教員】				
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】	
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp	
	神田 清子	同上	319	kkanda@niigata-cn.ac.jp	
	樺澤 三奈子	同上	318	minako-k@niigata-cn.ac.jp	
	横川 史穂子	同上	204	yokokawa@niigata-cn.ac.jp	
	関 睦美	同上	301	museki@niigata-cn.ac.jp	
	小暮 敏明	前橋ふえきクリニック			
	柏木 夕香	新潟県立新発田病院 がん看護専門看護師			
	【本学の科目区分】 専門分野				
	【D P 1】	【D P 2】	【D P 3】	【D P 4】	【D P 5】
	研究 ◎	○	○	○	○
	CNS ◎	○	○	○	○
	助産				

到達目標	1. がん医療やがん看護・緩和ケアの動向について説明することができる。 2. がん患者のたどる経過（診断、インフォームドコンセント、集学的治療、社会復帰と在宅療養、End of Life Care）に沿って必要となる身体管理・看護ケアの要点を概説することができる。
授業概要	がん医療の動向や政策とがん看護の特徴をふまえ、治療の選択における意思決定支援、手術療法、薬物療法、放射線療法を行う患者へのケア、全人的苦痛に対する緩和ケア・End of Life Care といったがん看護の基本的知識について学修する。がん看護・緩和ケア領域の実践・研究・教育に関する国内外の文献抄読を通して最新情報を習得し、討議を行いながらがん看護専門師に求められる役割や今後の課題についての考察を深めていく。
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん医療の動向と政策 学修内容：・日本のがん医療の動向と政策（がん対策基本法など） 事前学修：・学修課題に関する文献を探し、学修内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 事後学修：・授業資料と文献を活用して復習する。 備考：石田</p> <p>2 授業内容 授業形態：講義 学修課題：インフォームドコンセントと看護支援 学修内容：・がん看護におけるインフォームドコンセントと専門職としての在り方 事前学修：・学修課題に関する文献を探し、学修内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 事後学修：・授業資料と文献を活用して復習する。 備考：石田</p> <p>3 授業内容 授業形態：講義 学修課題：QOL を高めるケア（1） 学修内容：・トータルペインと専門看護師の役割 身体的苦痛とマネジメント 事前学修：・学修課題に関する文献を探し、学修内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 事後学修：・授業資料と文献を活用して復習する。 備考：石田</p> <p>4 授業内容 授業形態：講義 学修課題：QOL を高めるケア（2） 学修内容：・心理・精神的・スピリチュアル・ペインとマネジメント 事前学修：・学修内容に関する指定の資料を事前に読んでおく。 事後学修：・授業資料と文献を活用して復習する。</p>

5	備考：石田 授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん治療と看護（1）：手術療法 学修内容：・がんの手術療法と看護ケアの概要 事前学修：・指定課題についての事前レポートを作成する。 事後学修：・講義、ディスカッションをもとに文献を活用して事前レポートを修正する。 備考：樺澤
6	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん治療と看護（2）：薬物療法 学修内容：・がんの薬物療法と看護ケアの概要 事前学修：・学修課題に関する文献を探し、学修内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 事後学修：・授業資料と文献を活用して復習する。 備考：石田
7	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん治療と看護（3）：放射線療法 学修内容：・がんの放射線療法と看護ケアの概要 事前学修：・指定課題についての事前レポートを作成する。 事後学修：・講義、ディスカッションをもとに文献を活用して事前レポートを修正する。 備考：樺澤
8	授業内容 授業形態：講義 学修課題：End of Life Care と緩和ケア 学修内容：・緩和ケア・End of Life Care の概念、トータルペインとQOLを高めるアプローチ、終末期医療の動向、日本の文化における死 事前学修：・学修課題に関する文献を探し、学修内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 事後学修：・授業資料と文献を活用して復習する。 備考：石田
9	授業内容 授業形態：講義 学修課題：Advance Care Planning(ACP)と意思決定 学修内容：・アドバンスケアプランニングの概要と実際 事前学修：学修課題に関する文献を探し、学修内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 事後学修：授業資料と文献を活用して復習する。 備考：横川
10	授業内容 授業形態：講義 学修課題：集学的治療とチームアプローチ 学修内容：・集学的治療の基本的理解とがん医療におけるチームアプローチ 事前学修：・学修課題に関する文献を探し、学修内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 事後学修：・授業資料と文献を活用して復習する。 備考：樺澤
11	授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん患者・家族への生活再構築の支援 学修内容：・がんに関連した医療制度や社会資源の活用 事前学修：・がんの診断から死に至るまでの過程でがん患者・家族に生じる 1) 2) の具体例を挙げ、それらの解決のために利用可能な社会資源や医療制度をまとめる。 1) がん治療にかかる高額な医療費や労働に関連する課題 2) がん治療がもたらす心身の障害に関連する課題 事後学修：授業資料と文献を活用して復習する。 備考：柏木
12	授業内容 授業形態：講義 学修課題：在宅がんケア 学修内容：・在宅がん患者の継続ケアシステムの構築と課題 事前学修：・事前に指定された指定の資料等を読んでおく。 ・過去に関わった在宅がん患者の事例について、健康状態、生活状況、家族構成、介護保険等を要約したプレゼンテーション資料を作成する。 事後学修：事例に対する看護支援についてのディスカッションをもとに、文献を活用して学修内容を復習する。 備考：関
13	授業内容 授業形態：講義 学修課題：支持療法における漢方薬の位置づけ（1） 学修内容：・緩和ケアと漢方 事前学修：・がん治療における漢方の活用例について、文献を探し調べておく。 事後学修：・授業資料と文献を活用して復習する。 備考：小暮
14	授業内容 授業形態：講義 学修課題：支持療法における漢方薬の位置づけ（2） 学修内容：・有害事象による末梢神経症状 ・がん治療における漢方の活用例について、文献を探し調べておく。 事後学修：・授業資料と文献を活用して復習する。 備考：小暮

	<p>15 授業内容 授業形態：講義 学修課題：専門看護師の実践活用（1）文献の活用と批判 学修内容：・専門看護師としての実践能力の向上：がんの薬物療法 事前学修：・事前に指定された指定の資料等を読み、疑問点をまとめておく。 事後学修：・文献を活用して学修内容を復習する。 備考：神田</p> <p>16 授業内容 授業形態：講義 学修課題：専門看護師の実践活用（2）文献の活用と批判 学修内容：・専門看護師としての実践能力の向上：緩和ケア 事前学修：・事前に指定されたアルゴリズム研究論文とYouTube教材を学修し、疑問点をまとめておく。 事後学修：・文献を活用して学修内容を復習する。 備考：神田</p> <p>17 授業内容 授業形態：講義 学修課題：がん患者の家族ケア 学修内容：・がん患者の家族の体験の特徴と看護 事前学修：・指定課題についての事前レポートを作成する。 事後学修：・講義、ディスカッションをもとに文献を活用して事前レポートを修正する。 備考：樺澤</p> <p>18 授業内容 授業形態：演習 学修課題：課題発表・評価 学修内容：・今後の展望（課題） 事前学修：・指定課題についての事前レポートを作成する。 事後学修：・ディスカッションをもとに、文献を活用して事前レポートを修正する。 備考：石田</p>
事前・事後学習	授業計画参照
評価方法、評価基準	到達目標1～2に対して、授業参加状況 20%、ディスカッション 30%、レポート 50%により総合的に評価する。
テキスト	最新の文献を使用するため、現時点では指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等	必要時案内する。
受講、課題、資料配布等のルール	授業計画の詳細については、どこかで通知する。 プレゼンテーションを行う学生は、授業前に人数分をコピーして持参する。
教員からのメッセージ	がん看護学の基盤となる理論や概念を学ぶ本科目では、疑問を自ら掘り下げる主体的な自己学修を期待する。
オフィスアワー	石田、樺澤、横川が窓口として対応する。事前にメールで連絡する。